

KOBE YMCA NEWS



神戸青年 No.616

2012.5・6 May・Jun

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/松森 正樹
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

確かに未来はある。
あなたの希望が断たれることはない。
(箴言23章18節)

三田市市民活動推進プラザの 管理運営が始まりました。

このたび、YMCAが三田市からの委託を受け、4月1日より三田市市民活動推進プラザの運営をおこなっています。

当プラザの主な業務は市民活動やNPO法人の立ち上げ、サポートに関する相談業務とまちづくりに寄与する情報提供や情報整理、市民や団体に向けた講座の企画などです。

そして今回選定をされたもう一つの大きな要因が、青少年や中高生に対する積極的な事業展開への期待です。

これまでの20年間の歩みを活かし、これからの新しいまちづくりの、行政や市民との協働モデルとなるよう運営していきたいと思っております。一人ひとりの平和を願い、小さなYMCAだからこそ実現できると信じて。また、今後、様々なジャンルの方々を巻き込みながら、三田を元気に、より住みよい町にしていきたいと思っておりますので、関心と興味を持って見守ってくださるようお願いいたします。

運営開始当初から、事務パートや専門家の皆様、また多くのボランティアの方々のお支えもあり、慣れない作業も本当に楽しく感じる毎日です。YMCAらしく、全ての人に開かれたプラザ運営を目指して日々奮闘しています。

三田に来られた際は是非、駅前ビル（キッピーモール6階）に足を運んでみてください。

また、様々な講座や講演会のご案内もさせていただきます。これからは三田センターならびに市民活動推進プラザをよろしく願います。

担当：清水浩一



香櫨園育成センター スタート

2012年4月より西宮市香櫨園留守家庭児童育成センターにてYMCAの学童保育がスタートしました。香櫨園育成センターは第1センターと第2センターがあり、2センターあわせ76名の子どもたちが生活をしています。4月2日（月）よりさっそく新1年生が小学校入学に先駆け入所し、6日（金）には全員揃って桜の名所である夙川にお花見へ行って来ました。新しいお友だちが加わり、子どもたちは毎日が新鮮で目を輝かせのびのびと過ごしています。

西宮においてYMCAが運営する学童保育は用海育成センター、浜脇育成センターに続き3センター目。香櫨園は西から用海、浜脇、香櫨園と隣り合う地域であり、歩いて行き来のできる距離にあります。用海、浜脇はもちろん他の育成センターとも連携し阪神地域でYMCAとしてこれまで以上に活動を展開していきます。また西宮YMCA（西宮ランチ）、西宮YMCA保



育園を校区に含む地域でもあります。現在育成センターへ通っている子どもたちの中にも西宮YMCA保育園の卒園児が何人もいます。保育の連続性が問われている今日、YMCAも乳児から幼児、そして学童期へ連続した保育を行えるようになりました。横のつながりも縦のつながりも大切に地域と共に歩んでいきます。これからも温かなご声援とご支援・ご協力をよろしく願います。
担当：枝木一郎

総会構成員各位

2012年5月1日

神戸キリスト教青年会

2012年 定期総会 公示

本会会則第23条により、下記の通り総会を開催します。

記

- 日時：2012年5月31日（木）18：30～
- 場所：神戸YMCAチャペル
- 議事：
 1. 2011年度事業報告の件
 2. 2012年度方針及び事業計画の件
 3. 会則改定の件
 4. 常議員、監事選任の件
- 報告 表彰：
 1. ボランティア奨励賞
 2. ユースボランティア紹介

尚、総会構成員以外の会員の方にも、YMCAの現状をご理解いただく機会として、ご列席いただければ幸いです。

以上

「知らんがなあ〜！」と思いましたが、それと平行して三田YMCAがオープン、当時私の父が三田学園の理事長をしていた関係で尾上さんがプレオープン当時、数回父の家を訪れ昔の三田の話聞いていたようで「めっちゃ寒い家で僕、あのとき風邪ひきましたわ〜」と何年も経ってから私にボヤかれたもんです。

そしてさんだワイズメンズクラブも設立し、チャーターメンバーとして入会させていただき多くの方々知り合う機会を頂戴しました。また娘が三田YMCAでの造形絵画教室、野外活動（武庫川探検隊）に参加し幼稚園、小学校ではリーダーたちから多くの思い出いただき、中・高等学校ではアプレンティスを経験。私もいま2回目のワイズ会長職を仰せつかっております。考えてみれば、いつも私たち家族の生活のどこかにYMCAが関わっていました。不思議な縁ですね。

早いものであれから間もなく20年が経とうとしています。いまワイズメンズクラブの面々も年をとり、昔の勢いも少し薄れた気がしますが、ワイズ・スピリッツは忘れないで、エンジョイしております。



YMCAとわたし

さんだワイズメンズクラブ会長 若林 学

生まれてから高校卒業まで三田の地で過ごした私はYMCAとは程遠い位置にいました。いわゆる「井の中の蛙、大海を知らず」田舎の小僧そのままでした。たまたま、希望大学入試に落ち、いよいよ浪人かあ〜と、友達と神戸YMCA予備校を受けたのが係りの最初だと記憶しております。（そんな気持ちだったのでYMCAも落ちました）。何とか浪人は免れ岐阜の大学へと進み卒業、結婚、子供が生まれるまで随分長い年月を経ました。平成4年、大学での助手生活に見切りをつけて親元で歯科医院開業のため三田に戻ってきました。折しもニュータウン建設ラッシュで人口もグングン増加し随分新聞や雑誌を賑わしていた記憶があります。

それと平行して三田YMCAがオープン、当時私の父が三田学園の理事長をしていた関係で尾上さんがプレオープン当時、数回父の家を訪れ昔の三田の話聞いていたようで「めっちゃ寒い家で僕、あのとき風邪ひきましたわ〜」と何年も経ってから私にボヤかれたもんです。

東日本大震災復興支援活動報告

日本のYMCAでは、三菱商事株式会社と協働で、東日本大震災で被災した地域の子どもたちを対象に、「三菱商事YMCAフレンドシップ・キャンプ」を、2011年7月から全国で展開していま

す。神戸YMCAでは、3月27〜30日(2泊3日)、宮城県山元町の中学生16名を招いて、啓明学院中学生16名とともに「ともにいこうキャンプ」を実施、また、3月28日〜3月31日(2泊3日)、福島市の小学生39名を神戸YMCA余島野外活動センターに招いて「余島ダイヤモンドキャンプ」を実施しまし

た。余島ダイヤモンドキャンプでは、屋外での遊びが制限されている子どもたちが、余島の素晴らしい大自然のなかで、大地や砂浜を転がり、山や海の生きもの全てを体感し、大いに触れ合う時を過ごしました。限られた時ではありましたが、春本番の陽気のなかで、カヌーやヨット、釣り、アーチェリーと野外活動を満喫、島で採取したよもぎで団子を作ったり、野草で天ぷらを作ったり、自然も味わいました。余島キャンプ場の他グループの子どもたちとの合同ミュージックファイヤーも音楽と踊りで解放された時間となりました。

本場に短い期間でしたが、春休みのキャンプを実施させていただきま
した。このキャンプを
ご支援ご協力いただい
た多くの皆様に心より
御礼申し上げます。運
営に努めたボランティア
の方々にも感謝いた
します。キャンプを終
え、またそれぞれの被
災地域で過ごす子ども
たちを覚え、今後とも
皆様とともに、継続し
て支援プログラムを取
り組んでいきます。ど
うぞ変わらぬご支援を
お願いいたします。

担当：永井道子



保育園

神戸市西区学園都市にあるYMCA保育園は、開園から25年を迎え、ますます多くの子どもたちの笑顔があふれ、笑い声が響いています。昨秋から今春にかけて行われた増改築工事も無事に終了し、より広く美しい保育園へと姿を変えました。工事の間は、大きなクレーン車やショベルカーがやってきて、子どもたちは好奇心で目を輝かせていました。増築後には、広々としたランチルームと新しい保育室が誕生しました。YMCA保育園自慢のひとつ、手作りのお昼ご飯をつくるキッチンも拡張され、ますますおいしくなったご飯が子どもたちの成長を支えてくれています。新たな仲間も入園し、181名の子どもたちとともにスタートした2012年度。神様から与えられた一人一人の「やさしいこころ」、「つよいいし」、「すこやかなからだ」が、よりよく育まれるようにと願います。

担当：松田康之



ランチルーム

幼稚園

園庭の花が色とりどりに咲き始め、幼稚園では両園無事に入園式を迎えることができました。入園式では、まだまだオムツのとれていない子どもたちもいて保護者の方から離れて、椅子にすわったり、お祈りをしたり賛美歌を聞いたり、初めての体験をします。泣いている子ども、緊張している子ども、おしゃべりしている子ども、とその姿は様々です。

最近の入園式事情は、平日にも関わらずお父さんの出席率が高く驚かされます。それだけ保護者の方々の子どもへの期待、また幼稚園への期待が感じられ、私たち保育者も身の引き締まる思いです。子どもの育ちは「木」にたとえられ、幼児期は根っこの時期です。幼稚園で友だちや先生、遊びを通して、目に見えない根っこをグングン伸ばしてほしいと願っています。私たちはこの子どもたちと幼児期を共に過ごすことができる仕事を嬉しく誇りに思い、明日からの数々のエピソードに思いはせ、とにかく子どもたちと汗だくで走りまわる4月5月です。一年が終わる頃にはどんなに根っこが伸びているのでしょうか。私たちも期待に胸を膨らませ一年のスタートです。

担当：大谷弘子

高等学院創立10周年

「神戸YMCA高等学院」は今年、創立10周年を迎えました。

最初の卒業式では13名、今年の卒業式では35名の卒業生を送り出すことが出来ました。年々我々の学校への期待が高まっている事を実感として感じます。

さて、今の日本は一昔前とずいぶん様相が変わっています。親の世代が青春時代をおくった80年代のバブル絶頂期の「有名大学から大企業、終身雇用、安定した生活」という成功の図式は大きく揺らいでいます。何が正解で何が間違っているのかがわからない、未だかつて無い混沌とした時代を迎えています。

若者たちは「平成不況」「経済構造改革」「金融ビッグバン」「政権交代」「リーマンショック」など目まぐるしく世の中のシステムや価値観が変わる時代に生まれて育ってきました。地価や物価が下がるはずもなく、IT機器もなかった親の世代とは全く違う世代です。

この時代に生きる若者たちは、それぞれが漠然とした「生きにくさ」を心に抱えています。そんな若者たちに必要なものは何でしょうか。

それは本気で相談にのることの出来る「大人」の存在であり、自力での「成功体験」の積み重ねであり、「人間関係」の広がりではないかと私達は考えます。

2012年度の神戸YMCAの年間聖句は「確かに未来はある。あなたの希望が断たれることはない」です。希望を持ちにくい時代と言われますが、まずは我々大人が希望を持たなければなりません。子どもはそんな大人の姿の中に希望を見つけ出します。

高等学院には集団になじめなかった若者たちが集まってきます。

その若者たちが高等学院で希望の種を見つけ出し、あらゆる苦難を乗り越えていくことが出来るよう、これからも支えていきたいと思ひます。

担当：西田 勉



- 【寄付金】
- 兼田 幸子
 - 上杉 徹
 - 塩田 都造
 - 安平 和彦
 - 中山 豊美(他、絵画)
- 【125周年協賛金ご協力者】
- 2011年度 西宮YMCAカーニバル
 - 2011年度 西神戸YMCAわいわいまつり
- 感謝 (順不同・敬称略)

～2011年度国際協力募金感謝～ かけがえのない いのちと平和

2011年度神戸YMCA国際協力募金が2月末をもって終了いたしました。約350万円の浄財が寄せられました。ご協力くださいました皆さまに、心よりお礼申し上げます。この募金は神戸YMCAが行なう国際協力、地域奉仕活動に、そして日本YMCA同盟を通して災害支援、難民支援等に用いらさせていただきます。
(東日本大震災支援募金へは、別途、約570万円が寄せられました)

YMCA国際協力募金は

世界の国と地域に広がるYMCAのネットワークを通じて、すべての人びとが国、民族、宗教の違いを認め合い、平和にいきいきと暮らすことが出来る世界をつくりだすための国際協力、地域奉仕活動に用いられています。

人びととともに

17年前、私たちの地域は困難な環境にありながらも、世界中の様々な人びとにより強く支えられる経験をいたしました。昨年生じた東日本大震災には、私たちが支えられたように、被災地の方々に寄り添う活動を行っています。互いに支えられ支えるという関係を築き、互いが強められるよう、国際協力募金が用いられています。

ひとりひとりを大切に

私たち一人ひとりが互いに関心を持ち、誰もがともに支えあえる関係であるように、YMCAでは、豊かな出会いを通して、人と人とが交流し学びあうことができるよう、日々の活動に取り組んでいます。

地域とともに

神戸YMCAは、「子どもと若者のいのちが光り輝くように」という願いのもと、それぞれが与えられた地域で平和をつくりだすことができる人が育つように、多くの出会いと学びの機会を提供しています。

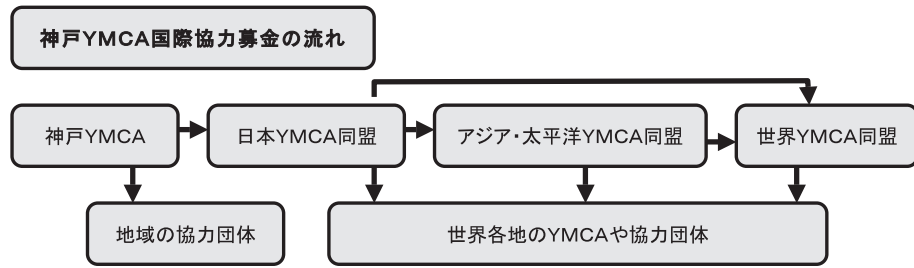
多くの会員の皆さま、地域の他の関係者の皆さまとともに街頭募金活動や啓発活動にも努めてきました。皆さまのご協力とご理解に重ねて感謝申し上げます。



街頭募金活動



学習センター (第29回タイワークキャンプ)



最後にになりましたが、このキャンプを応援してください。多くの皆さまにお礼申し上げます。ありがとうございます。

タイワークキャンプ引率
水野宏明
(西神戸YMCA職員)



ソナタ 奏鳴曲 No.51



総主事 水野雄二

♪Stand by me スタンド・バイ・ミー

「神戸YMCA高等学院」という高等学校(通信制・単位制)の技能連携校が神戸市西区の学園都市YMCA会館にあります。今年で丁度、開設10周年を迎えます。100名に満たない小さな学校で、今までの卒業生は175名。通常の高校とは違う小規模な、しかしユニークな学校です。課題を持つ生徒たちが集り、それぞれの個性を輝かせたり、曇らせたりしながらも、学校生活を楽しみ、各自の成長を遂げていきます。

毎年3月の卒業式では、卒業証書を受け取った後、各々が短いスピーチを。「お母さん、今まで言うたことないけど、ありがとう!」「学校が楽しかった!」「最初は友達おらんかったけど、最後は仲良くなれて良かったです!」恐らく今まで口にできなかったセリフを少し照れながら、はにかんで、しかし思いを込めて語る姿に目頭が熱くなります。

ふと、「スタンド・バイ・ミー」という古い歌が頭をよぎりました。1960年代にベン・E・キングが歌い、ジョン・レノンもカバーした曲で、「♪夜になって暗く、月明かりしか見えなくても怖くないさ、君がそばにいてくれたら…そばにいて僕を支えてほしい、そばにいて…」と歌っています。幼くして人間関係の困難さに迷い、悩み、学校が嫌になったり、行けなくなったりした高等学院の子どもたち。いつも胸の中で「そばにいてほしい」と叫んでいたかも知れません。「寄り添う」というYMCAの基本姿勢がありますが、「寄り添う」にピッタリの英語はstand byではないでしょうか。

この「スタンド・バイ・ミー」の歌詞の最後は、「君が困っている時はいつだって、そばにいてほしい、僕が支えてあげるから」と支える主体が逆転しています。支えあうこと、寄り添い合うことで、困難な状況からの一歩が始まるという証が神戸YMCA高等学院の10年の歩みではなかったでしょうか。

この4月、桜咲く春の日に、また新しい仲間が高等学院に入学しました。

第29回タイワークキャンプ報告

3月10日から23日までの2週間、タイワークキャンプを行いました。ワーク地は、チェンライから車で約1時間のトゥンヌア村で、村の学校敷地内に学習センターを建てました。村人のほとんどが米、野菜、果物を作って収入を得ている地域ということもあり、学習センターは展示などを通して村のだれもが環境について学ぶことができる施設となります。私たちはこのセンターがコミュニティーの中心となることを願って「INTERNATIONAL FRIENDSHIP CENTER (みんなと私たちのいえ)」と名付けました。センターの建設は村の大人たちが中心となりましたが、ホストファミリーが訪ねてこられたり、先生が建設の様子を写真記録にしたりするなど、皆で作りに上げているという印象でした。

今回のキャンプはタイ・ラオス・日本の3カ国からの参加でした。参加者は、それぞれの文化や思いや考えの違いに戸惑うことや言葉の壁にぶつかることもあり、自身の課題を改めて感じさせられることもありました。しかしながらその壁を乗り越えようと、積極的に自分の思いを伝えようと努力する姿、疑問に感じたことを必死に聞こうとする姿、そして感じたことをノートに留めておき振り返る姿、このキャンプでは与えられるだけでなく、自らが生み出していくという姿勢が多く見られました。

また、チェンマイYMCAのストリートチルドレンプログラムや環境教育の学びでは、タイという国が抱える問題を目の当たりにしました。文献ではなく、実際に感じることでできたことは、私たちに与えてくれたことでは、私たちが2週間という短い期間では消化しきれない事柄が多く、キャンプの振り返りでは「キャンプで感じたことなどを伝えていくこと」という意見がありました。

ウエルネスセンター三宮	☎078 (241) 7202
YMCAホームヘルパーの事務所	☎078 (241) 7237
ランゲージセンター	☎078 (241) 7204
専門学校	☎078 (241) 7203
西宮YMCA	☎0798 (35) 5987
三田YMCA	☎079 (559) 0075
余島野外活動センター	☎0879 (62) 2241
国際・奉仕センター	☎078 (241) 7204
ウエルネスセンター学園都市	☎078 (793) 7401



Information

西神戸YMCA	☎078 (793) 7402
西神戸YMCA	☎078 (993) 1560
須磨YMCA	☎078 (734) 0183
YMCA保育園	☎078 (794) 3901
西宮YMCA保育園	☎0798 (35) 5992
西神戸YMCA保育園	☎078 (792) 1011
YMCAちとせ幼稚園	☎078 (732) 3542
西神戸YMCA幼稚園	☎078 (997) 7705
西宮つとがわYMCA保育園	☎0798 (26) 1016

みんなで作ろう！とびきり楽しい夏の思い出。 夏休みはYMCAのプログラムへ！



子どもたちが大人になった時、社会で自分の力で生きていかなければならない時、何が問われるか？ それは、知識、行動力、判断力、創造力、適応力、協調性、強いメンタルなどなどの力が、総合的にどう備わっているかということになります。

YMCAキャンプは、そのような力を、プログラム楽しみながら、仲間やモデルとなるリーダーとともにそんな力を身につけていくことができるキャンプです。ひとりひとりの個性は大切にしながら、全人的な子どもたちの成長を願っています。是非、ご参加ください。



魂宿るプログラムに幕

ウエルネスセンターで毎週土曜日に行っていた成人プログラム「A LIFE BOXING」というボクシングプログラムがあります。元指導者の故浅川さんの魂を引き継いで、これまで10年という長きにわたり成人メンバー相澤幸作さんと陳創生さんがメンバーとともに活動を続けてこられました。このたびその活動に幕を下ろされましたが、その活動に感謝と尊敬の念を覚えます。相澤さん、陳さん、長年のご奉仕に心より感謝いたします。お疲れ様でした。そしてこれからもメンバー自身がメンバーとともに歩む会員活動の発展を願います。 担当：原田泰志



Photo Topics



西宮YMCA・西宮YMCA保育園 ファミリープログラム 3/20(火・祝)
『野外料理でフルコース』をテーマに19家族、57名とボランティアのみなさんで西宮市にある甲山キャンプ場で野外料理をしました。いつもよりたくましい子どもたち、いつもよりかっこいいお父さん、いつもより元気いっぱいのお母さんに出会うことができました。春の自然の中で家族一緒にのびのびとした時間になりました。



「神戸YWCA・YMCAイースター早天礼拝90周年」 4/8(日)
第90回となるYWCA・YMCAのイースター合同礼拝を甲南教会の芹野創牧師を迎え、約150名の方とともに守ることができました。
また、礼拝では44,569円の献金がささげられました。YWCA相互援助募金・YMCA国際協力募金ならびに東日本大震災復興支援募金として用いられます。



神戸YMCA学院専門学校 入学式 4/4(水)
専門学校では2012年度の入学式を行ないました。将来のホテル工を目指すホテル学科と日本語を学ぶ日本語学科の学生たちが希望に胸を膨らませ入学しました。昨日の荒れた天候が嘘のような素晴らしい天気を迎えられた新入生たち。これから自分が目指す目標に一つでも近づくことができるようがんばって欲しいと願っています。



信州志賀高原 キッズスキーキャンプ 3/26(月)朝 ~3/30(金)朝
於：横手山スキー場



沖縄シュノーケリングキャンプ 3/25(日) ~3/28(水)
碧い海・青い空の沖縄を愉しんで来ました。釣った魚も美味しくいただきました。



YMCAちとせ幼稚園 入園式 4/12(木)

★★ 個人消息 ★★

【ご逝去】慎んでお悔やみ申し上げます。

4/5 飯田義雄兄
(神戸キリスト教青年会常議員、芦屋ワイズメンズクラブ)

人事のお知らせ

4月号において、人事のお知らせを掲載いたしました。記載漏れがございました。お詫びを申し上げ、改めて掲載させていただきます。

《退職職員》 山根 泉 西宮ランチ